

第23回

博物館文化祭

ーワーキンググループ活動展示・報告会・実演

【参加ワーキンググループ】

生き物ズームプロジェクト 聞き書きの会

古代生活実験室 古文書講読会

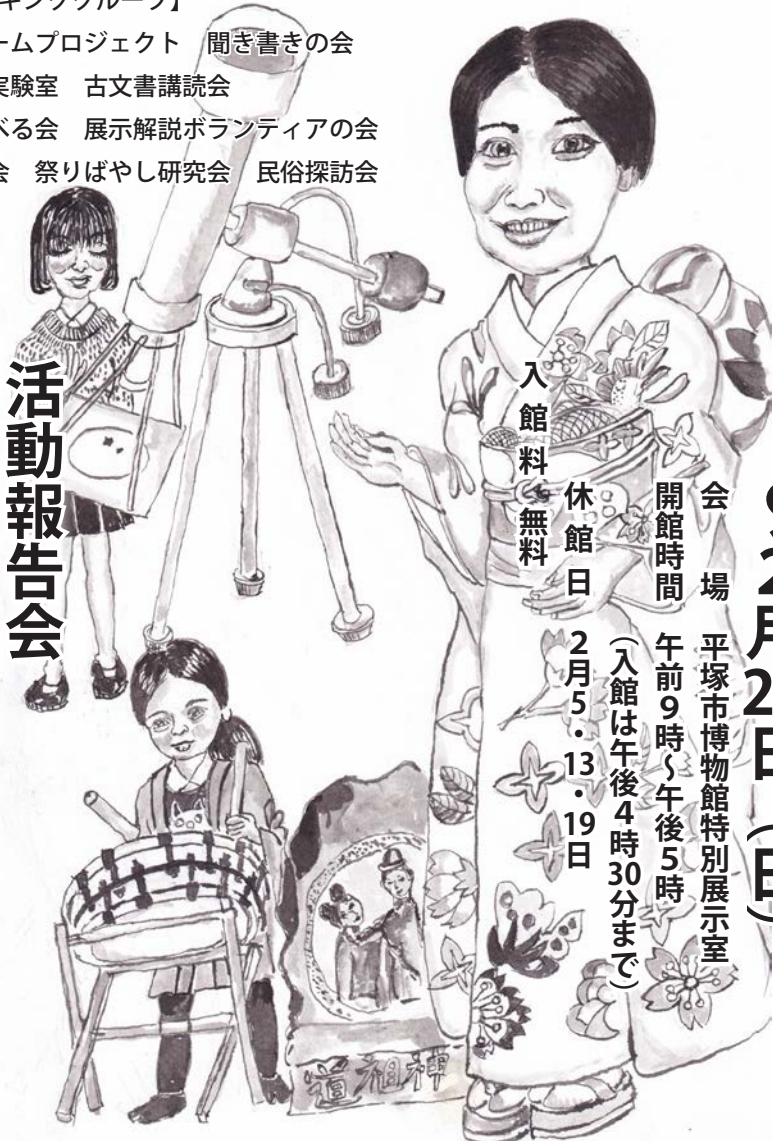
石仏を調べる会 展示解説ボランティアの会

天体観察会 祭りばやし研究会 民俗探訪会

活動報告会

2月24日(土) 午後1時30分〜午後3時40分

会場 1階講堂 定員 80名



入館料 無料

休館日 2月5・13・19日

開館時間 午前9時〜午後5時
(入館は午後4時30分まで)

会場 平塚市博物館特別展示室

令和6年2月3日(土)
〜2月25日(日)

主催：平塚市博物館・第23回博物館文化祭実行委員会

目次

ごあいさつ..... 1

【参加ワーキンググループ紹介】

生き物ズームプロジェクト..... 2

聞き書きの会..... 3

古代生活実験室..... 4

古文書講読会..... 5

石仏を調べる会..... 6

展示解説ボランティアの会..... 7

天体観察会..... 8

祭りばやし研究会..... 9

民俗探訪会..... 10

特別展示室のレイアウトと展示タイトル..... 11

年間会員制ワーキンググループ一覧... 12

ごあいさつ

ようこそ、第23回博物館文化祭にお越しくださいました。平塚市博物館では、市民で構成される15のワーキンググループが、さまざまな博物館活動を展開しています。今回の文化祭は、このうち9のグループが、それぞれの活動を通して地域を調べ、考え、体感して得た発見の数々をご紹介します。

当館は、およそ50年にわたり、市民の皆さんとともに、地域の自然と文化を調べ、たくさんの資料や情報を集めてまいりました。でも、どんなに調べ、集めても、これで終わりということはありません。調べれば調べるほど謎は深まりますし、街の景観や私たちの暮らしは変わり続けるので、今この現在を記録し、未来へ伝えていくことも大切な営みなのです。

ご来場の皆さまにおかれましては、この会場が地域の再発見につながる出会いの場となりましたら幸いです。そして、もしも興味を感じたグループがございましたら、入会についてもご検討ください。活動の喜びを分かち合える方が増えることを心より願っております。

最後になりましたが、開催にご尽力いただいた実行委員、ならびに参加グループの皆さまに、この場を借りて感謝を申し上げます。

令和6年2月3日

平塚市博物館

館長 浜野 達也

生き物ズームプロジェクト

身近な自然について学びましょう。

総合公園での観察を続けています。歩き慣れた場所でも、立ち止まってじっと観察するとおどろきやふしぎなことなどいろいろな発見があります。それは、詳しく調べるきっかけになり、そして学んだことが積み重なっていきます。いっしょに参加してみませんか？



2023年8月27日 ハラビロカマキリ



2023年8月27日 ヤブキリ



2023年8月27日 コブシ



2023年4月23日 エノキハムシの幼虫

2024年度の活動

- ◇観察会 平塚市総合公園で 月1回 日曜日の午前9時30分～午前11時30分
参加希望者は、午後1時～3時 博物館でスケッチ等
対象：中学生以上（小学4～6年生は、保護者同伴で参加可）
（担当：松本学芸員）

【聞き書きの会】

聞き書きの会は、長く平塚にお住まいの方の思い出や、子どもの頃のお話を聞かせていただき、語り言葉で冊子にまとめ次代へつなぐ活動をしています。

2014年4月に発足し、現在、会員数は7名（男性3名、女性4名）です。平塚についてもっと知りたいと思う皆さん、聞き手として一緒に先輩たちの話を聞いてみませんか？

今までの活動成果は、**聞き書き集『記憶をつないで』第1～4集**として発行しました。博物館文化祭の活動報告会では、発行する予定の第5集の紹介をします。

★ **話し手募集**：平塚に50年以上お住まいで75歳以上の方、
あなたの昔の体験を、聞かせていただけませんか？

★ **活動日**：定例会は原則毎月1回
(第2火曜日午前10時～午前12時)
博物館科学教室



昨年度の文化祭準備の様子

問い合わせは福田学芸員まで

⌘ 古代生活実験室 ⌘

私たちは、遺跡から発掘された古代の道具を復元し、当時どのような作り方をしていたか、どのような使い方をしていたか、その効果は、どのようなものだったのか等を研究、体験する『実験考古学』のグループです。



あなたも古代人を体験してみませんか！

- ◎活動日 毎月一回 木曜日午前10時～午後3時
- ◎場所 博物館 科学教室
- ◎その他 『こどもフェスタ』にて『火起こし体験』
市内小学校で土器作り、野焼きのお手伝い
夏休み『縄文人になろう』体験学習他

新規会員募集中！

問い合わせ 新宮学芸員まで

古文書講読会

【活動内容】

古文書をグループに分かれて解読し、会報や史料叢書として、記録に残しております。

また、当講読会に於いては複写を教材として日常活動をしておりますが、原文書に直接触れることが出来、文書を書いた人と同じ空間に身を置き郷土の歴史を一層身近に感ずることが出来ます。

◎活動日 毎週金曜日

午前 10 時～午後 3 時

◎会員数 32名 男25名 女7名

◎入会申込みは早田学芸員へ

【第 23 回博物館文化祭の展示】

「幕政から明治新政府への移行期の
出来事～大磯宿御用留を読んで～」

石仏を調べる会

平塚市内には、近世から現代まで多数の石造物があり、多くの人々により大切にされてきています。しかし、残念なことに石造物ゆえに劣化がまぬがれません。

石仏を調べる会(昭和56年(1981)発足)は、石造物の記録を残そうと、市内の石造物の悉皆調査を行い、『平塚の石仏』、『平塚の石仏 改訂版』各地区編などを刊行してきました。

[現在の活動]

- ・「平塚の石仏めぐり」マップ各地区編を作成。石仏に触れ、地域に慣れ親しんでいただきたいとの希望を込め、博物館のホーム Web 読み物で順次公開中。
- ・冊子『平塚の庚申塔』の刊行準備。(脱稿し、校正中。発行予定)
- ・『平塚の石仏 -再改訂版- 1平塚地区編』の刊行準備。(脱稿し、校正中。発行予定)
- ・市内石造物の悉皆再調査の実施。(記録の更新、新たな石造物の記録)
- ・市民対象に「石仏めぐり」を実施。(本年度は10月に「上吉沢の石仏めぐり」を実施)



[会 員] 13名

[活 動 日] 毎月 第2・4木曜日 午前9時30分～午後3時
(原則 いずれか一回は館内活動、一回は野外活動)

[会員募集] 市内、市外(現在、市外在住の仲間も活動しています)を問わず広く募集しています。

入会希望の方は、福田学芸員まで。

展示解説ボランティアの会

【展示解説ボランティアの会】は、平塚市博物館の展示物の解説を通じて、博物館と市民の皆様の「橋渡し」を担うことを目標に活動しております。平塚市博物館の活動テーマは「相模川流域の自然と文化」。

展示物は地質、生物、考古、天文、歴史、民俗の六分野と多岐に亘っております。私たちは楽しみながら平塚を多くの分野から学び、市民の皆様に役立てるよう活動しております。

設立：平成11年(1999)4月

目的：平塚市博物館が市民の皆さんにとって、身近で親しみのある場所になるよう展示物の解説、案内を通じて、私たちの住む平塚の街の生い立ちを理解する一助になるよう努めております。

活動内容：曜日担当制で、館内展示物の案内、解説の実施、毎年2月に開催される「博物館文化祭」と5月に開催の「子どもフェスタ」に参加。

解説レベル向上のため月2回定例会合を開催。年1回の館外研修を実施しております。

会員数：16名

【展示解説ボランティアの会】へのご入会をお待ちしております。

天体観察会



天体観察会は1983年に発足しました。会員は初心者からベテランまで、年齢層も小学生から70代まで約60名と多彩です。天文学芸員の指導のもと、星空や宇宙について調査や研究を行っています。

【2023年度の活動内容】

① 定例会

毎月の星空や天文情報の共有
博物館屋上での望遠鏡を使った星空観察
屋上でダイヤモンド富士の観察



② 分科会

天文基礎・最新情報の学習
太陽や流星の観測と解析方法の追究
プラネタリウム番組制作と生解説・投影



③ 星を見る会

博物館が開催する一般向けの観望会でのサポート など

会員の興味も様々です。ぼんやりと星座を眺めるのが好きな人、天体写真に挑戦する人、望遠鏡の操作を覚えたい人、みんなで楽しく語り合い、星を見ています。あなたも参加してみませんか。なお、活動のお問い合わせや入会の申込みは、天文担当の学芸員までお願いします。

祭りばやし研究会

お祭りの時期になると聴こえてくるお囃子。祭りばやし研究会では、平塚市内はもちろん、県内外の様々な祭囃子を聴き比べて研究し、学んでいます。

もちろん実際に太鼓を叩き、地域に継承されている曲の練習もしています。その練習の成果を発表する場もあります。

お囃子や太鼓の経験は問いません。祭囃子に興味があれば、誰でも大歓迎です！



☆実演「古民家でお囃子を聴こう」

2月3日(土) 午後3時15分～ 相模の家

◆会 員：19名

◆活動日：月1回土曜日(定例会) 午後4時30分～午後6時 科学教室
月1回金曜日(練習日) 午後5時30分～午後6時30分 科学教室

祭囃子に関心のある方、興味を持たれた方はぜひご参加ください。

経験は問いません。皆様のご参加をお待ちしております！

(お問い合わせは福田学芸員まで)

民俗探訪会

民俗探訪会では、これまで一年から三年の間テーマをきめて、平塚市内および県内の伝統行事、地域の暮らし、寺社や古道などについて、小グループで探訪の企画や現地の案内を分担しながら見学・調査を行ってきました。

今年度の野外活動では、「厚木道を歩く」、「須賀の稻荷を歩く」、「お盆のスナモリ、送り火調査」を実施しました。

今年度のテーマは、「私たちの調べた身近な疑問」と題して、会員が、身近な「ならわし」や「しきたり」などの習俗や活動の中で疑問に思ったことを調べました。展示では調べた結果を発表します。

あなたも一緒に歩いてみませんか？



「お盆のスナモリ、送り火調査」の現地での調査風景

2023.8.16
平塚市土屋寺分地区

会員数：25名（男性14名、女性11名）

活動日：原則毎月第3水曜日

午後1時30分～午後4時

入会歓迎！（お問い合わせは福田学芸員まで）

特別展示室のレイアウトと展示タイトル

古代生活実験室

生き物ズームプロジェクト

「実験考古学」とにかくやってみた」「平塚市総合公園の自然観察」

「私たちの調べた身近な疑問」

民俗探訪会

石仏を調べる会

「平塚の庚申塔」

質問掲示板

展示に寄せられた質問にワーキンググループ会員がお答えします。

「2023年度の天体観察会の取り組み」

「幕政から明治新政府への移行期の出来事

〜大磯宿御用留を読んで〜

「シオラマで見る平塚宿の今昔」

天体観察会

古文書講読会

展示壁紙
糸のハトトト6巻

展示解説ボランティアの会

博物館の年間会員制ワーキンググループ一覧

☆平塚市博物館では、いろいろなテーマで、さまざまな行事を行っています。

1年を通して、ともに学び、調べ、考え、活動される多くの皆様方のご参加をお待ちしています。

民俗探訪会

野外を歩き、その地域の習俗などを学びます。室内では会員が調べたことの発表や、勉強会を行っています。

聞き書きの会

市内に長くお住いの方から青少年時代の体験談を聞き取り、聞き書き集『記憶をつないで』にまとめ、地域の生活史を記録します。

石仏を調べる会

市内石仏マップの作成と、石造物の悉皆再調査を実施します。

祭りばやし研究会

祭りばやしの視聴や演奏を通し、体験的に祭りばやしを学びます。

平塚の空襲と戦災を記録する会

平塚空襲に関する聞き取り調査、資料の収集、資料集の作成、継承イベントなどを行います。

古文書講読会

館蔵古文書をグループで講読し、記録・発表します。

地域史研究ゼミ

地域史料の精読により地域史の共同研究を行います。

裏打ちの会

館蔵資料の保存を目的とした「文書の裏打ち」作業を行います。

古代生活実験室

古代人の技術を学び、実践します。令和6年度は火起こし道具の改良と古代の土笛の製作・演奏、エゴマの栽培を中心に実施します。

平塚の古代を学ぶ会

国指定史跡「五領ヶ台貝塚」の資料を再検討し、縄文時代への理解を深め、長く未来へ残していくための調査報告書の作成を目指して活動しています。

東国史跡踏査団

平塚市内外の地域を選んで、現在の地図と明治時代の地図を比較しながら歩き、遺跡の立地や環境を記録します。現在は貝塚を中心に踏査しています。

生き物ズームプロジェクト

「野外で気軽にディープな観察を楽しむ」をテーマにした調査研究会で総合公園で観察をしています。自分で観察することから始まり、最終的にはガイドブックの作成等、人に伝えることを目指します。

地球科学野外ゼミ

野外を歩いて地層や岩石、地形などを観察し、大地の成り立ちを調べて発表します。

展示解説ボランティアの会

博物館の展示コーナーを解説することで市民と博物館との橋渡しをし、博物館が身近で親しみが持てるよう活動しています。

天体観察会

天体の観察方法や天体写真の撮影方法を学びつつ、来館者が星に親しむお手伝いをします。

流星観察会

各会員の家庭に設置したカメラで同時に流星を捉え、流星のふるさと探しを行っています。カメラがなくても参加可能です。

申込み方法（各会共通）

- 現在、令和6年度の募集を行っています。「あなたと博物館」2月号、広報ひらつか2月第3金曜日発行または博物館HPの案内をご覧ください。
- 各館ワーキンググループの活動の詳細は、各担当学芸員までお尋ねください。
- 現在、会員募集を停止しているワーキンググループもあります。ご注意ください。
- ワーキンググループによっては、年間を通じて入会できるところもあります。
- z 問い合わせは平塚市博物館（電話 0463-33-5111 まで）



第23回 博物館文化祭 実行委員会

委員	鈴木 豊	生き物ズームプロジェクト
	露木 正巳	聞き書きの会
	瓜原 銀子	古代生活実験室・ 祭りばやし研究会
	三好 寛泰	古文書講読会
	田 幸 昇	石仏を調べる会
	太田 明夫 遊 佐 定夫	展示解説ボランティアの会
	秋山 純代	天体観察会
	平尾 正之	民俗探訪会
事務局	藤井 大地	博物館学芸担当

第23回博物館文化祭

—ワーキンググループ活動展示・発表・実演—

展示：令和6年2月3日（土）～2月25日（日）

編集：第23回博物館文化祭実行委員会

発行：平塚市博物館

印刷：平塚市役所印刷室

令和6年（2024年）2月3日

平塚市博物館

〒254-0041 神奈川県平塚市浅間町12-41

TEL 0463-33-5111 <https://www.hirahaku.jp>

実演 イベント

祭りばやし研究会 古民家でお囃子を聴こう！

祭りばやし研究会会員による平塚市内のお囃子の演奏です。

2月3日（土） 午後3時15分～午後4時

場所：1階相模の家、定員：20名（先着）、参加無料

天体観察会 太陽黒点を見よう

望遠鏡で太陽を投影し、表面に見られる黒点を観察します。

2月10日（土） 午前10時～午前10時45分（曇雨天時中止）

場所：屋上、定員：20名（先着、直接屋上に集合）、参加無料

天体観察会 会員によるプラネタリウム投影

天体観察会会員が、星空をテーマにオリジナルの番組を投影します。

2月10日（土） 午後3時30分～午後5時00分

2月18日（日） 午後3時30分～午後5時00分

場所：3階プラネタリウム室、定員：各回70名

（当日午前9時から受付で整理券を配布）、参加無料

活動 報告会

2月24日（土）午後1時30分～（開場は午後1時）

各ワーキンググループの日ごろの活動成果を発表します。

会場：1階講堂 定員：80名 参加無料

13:30 開会あいさつ（実行委員）、進行説明（司会）

幕末・明治の「助郷」について

13:35 江戸時代から諸街道の宿駅の大きな役割であった伝馬制度を支えた助郷が明治維新期に行き詰まり、陸運会社創設へ向かった過程を紹介します。 古文書講読会 三好 寛泰

活動概要

14:00 今回展示している庚申塔に関する内容も含めて、現在取り組んでいるテーマの進捗状況を報告致します。 石仏を調べる会 中島 大士

14:25 休憩（15分）

「記憶をつないで」第5集について

14:40 刊行予定の聞き書き集「記憶をつないで」第5集からいくつかのエピソードを紹介します。 聞き書きの会 露木 正巳

中原・御殿の稲荷神社

15:05 中原・御殿地区の稲荷神社について、現在どのように祀られているかやその分布を調査しました。 民俗探訪会 平田 明日香

15:30 閉会あいさつ（館長）